

かがやきによる支援・関わりの活用状況調査

調査の期間： 令和7年10月20日～11月17日

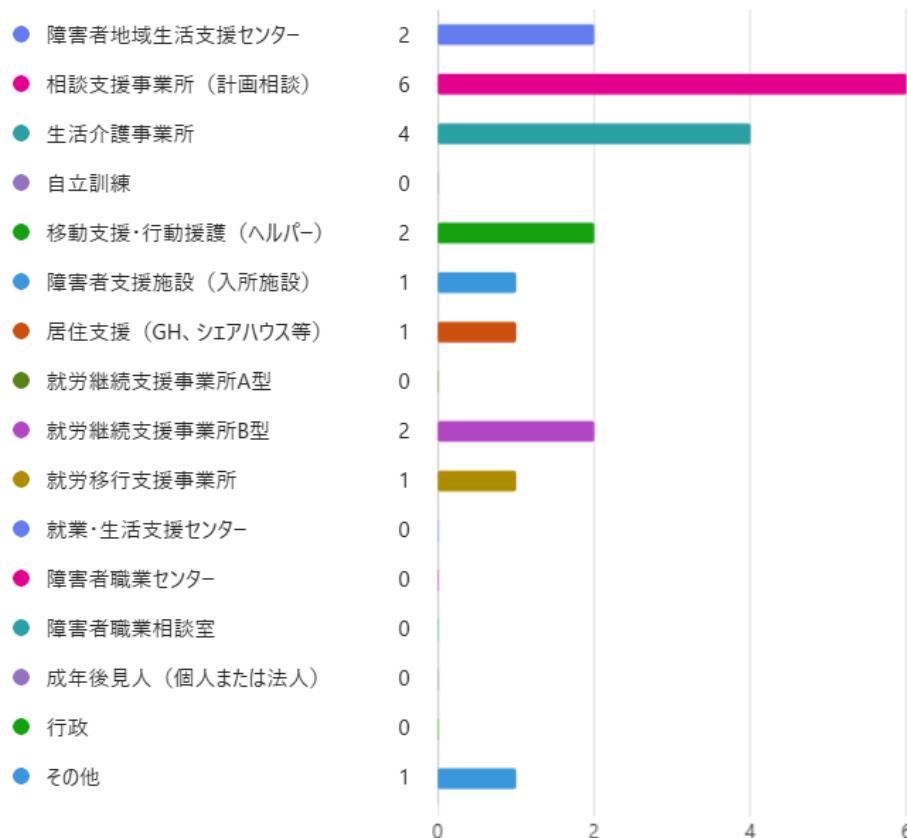
調査の対象： 令和6年度に危機介入型コンサルテーション対応でケースを共有した京都市内の事業所 32事業所※

※アセスメントを実施せずに終了となった4事業所と担当者が退職し回答できない旨の連絡があった2事業所は除いた数。

調査の方法： 書面で事業所へアンケートの趣旨を説明し、Web上のアンケートフォーム（Microsoft Forms）で回答を収集

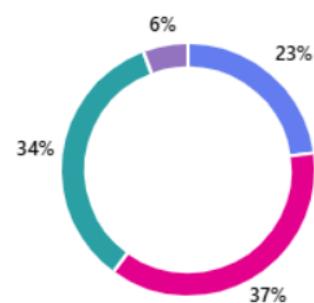
アンケート回答数：20事業所（回答率：62.5%、前回68.8%）

1～3. あなたのご所属の事業種別



4. あなたが参加した「かがやき」の支援・関わりは、どんなことですか。（複数回答可）

- A：「かがやき」が行う本人の評価セッション（構造化された場面を設定）を見学した 8
- B：検査結果や評価セッションの報告レポートの説明を「かがやき」が行い、本人の支援における工夫ポイントの説明があった 13
- C：本人の関係者会議に参加し、本人の支援についての助言を聞いた 12
- D：その他 2

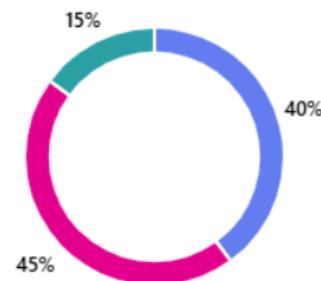


5. 質問4で「その他」を選んだ方は、具体的にお書きください。

- 本人の支援、対応方法についてアドバイスをいただいた。(就労移行支援事業所)
- 本人の強みや弱みを見極めそれに応じた支援方法の提案、PECSをどのように活用していくかなどのアドバイス。(障害者支援施設)

6. 質問4で選択した「かがやき」が行った支援・関わりは、当該ケースの支援計画の見直しや本人への関わりに役立ちましたか。

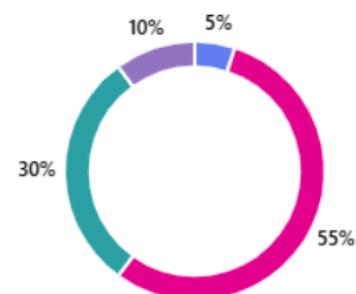
- | | |
|---------------|---|
| ● とても役に立った | 8 |
| ● 役に立った | 9 |
| ● あまり役に立たなかった | 3 |
| ● 役に立たなかった | 0 |



7. 質問6で「とても役に立った」「役に立った」と答えた方にお尋ねします。

A、B、C、Dのうち、どの支援・関わりが最も役に立ちましたか。

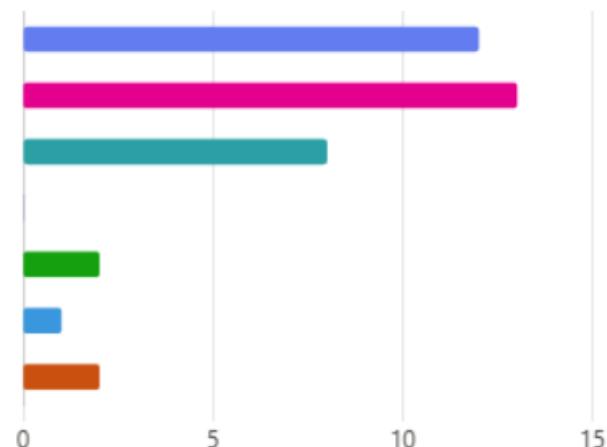
- | | |
|--|----|
| ● A：「かがやき」が行う本人の評価セッションの見学 | 1 |
| ● B：評価結果や評価セッションの報告レポートと本人の支援における工夫ポイントの説明 | 11 |
| ● C：本人の関係者会議での、本人の支援についての助言 | 6 |
| ● D：その他 | 2 |



8. 質問6で「とても役に立った」「役に立った」と答えた方にお尋ねします。

具体的にはどんなところに役立ちましたか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------------------|----|
| ● 本人の自閉症特性の理解 | 12 |
| ● 本人への関わり方の見直し | 13 |
| ● 支援者間での、本人の自閉症特性の共通認識づくり | 8 |
| ● サービス等利用計画の見直し | 0 |
| ● サービス提供事業者への、本人の自閉症特性の説明 | 2 |
| ● 本人の行動障害を知ったうえで、新規に受け入れてくれる事業所の開拓 | 1 |
| ● その他 | 2 |



9. 質問8でチェックした項目について、具体的に教えてください。

- ・ 本人のかかわり方で、意思確認の際に、文字に書いて選んでいただくこと。意思をできるだけ組み入れることの大切さ。(就労移行支援事業所)
- ・ ご本人の感覚についての検査結果により、環境設定の見直しや支援の見直しを行うことができた。関係者会議の中で自宅での様子や今までの経歴から本人のできることや得意な事などを再考することができた。(生活介護事業所)
- ・ 日本版感覚プロファイルの検査結果を聞いて、本人の特性や、感覚面で気をつけた方が良いことなどを学ぶことができました。(就労継続支援事業所B型)
- ・ 本人の能力を知れた。(生活介護事業所)
- ・ ご本人の特性について、ストレンギスを含めた評価をもらい、実際に通所される事業所の支援に役立った。(相談支援事業所)
- ・ 他事業所と共有できたことが1番大きい。(移動支援・行動援護)
- ・ お母様があげておられた困りごとが改善され、今は落ち着いて過ごされています。(相談支援事業所)
- ・ 検査の様子を実際に見せてもらうことで、集中力の高さ・作業への意欲がとてもあることを実感できた。また、支援について「こういう風に接すると本人が楽になれる」と具体的にアドバイスくださったのも安心につながりました。(移動支援・行動援護)
- ・ 本人の強みを活かした支援、弱みを考慮した支援の組み立て。(その他)
- ・ 見逃していた、本人のストレンギスに気が付きました。(就労継続支援事業所B型)
- ・ 支援者の思い思いの考え方で支援するのではなく、ご本人に適した支援を統一して行うことで安定してこられることを実感できました。また、ご本人に自身の特性や障害受容してもらうことで、ご本人が意識して取り組むことで劇的な変化を実感できました。(相談支援事業所)
- ・ 視覚提示の修正や見直し、なぜ必要なのかの根拠を知り、職員間で共有認識することが出来た。(居住支援)
- ・ スケジュール提示や取り組む自立課題の内容。(生活介護事業所)
- ・ 今回絵カードの活用場面を増やしていきたいことにあたり相談させて頂き、ご本人が絵カードを使われる場面設定に合わせた物、本人の特性に合ったカードを用意していく事などアドバイスを頂き、今ではコミュニケーションの幅が広がってきています。また本人が積極的に支援員へのアプローチが見られる様になりました。(障害者支援施設)
- ・ 家族への支援につながればと利用しました。お漏らしの原因のひとつとして家族構成の変化を助言していただき、両親との関係改善によるのか分かりませんが、お漏らしの回数は減少しましたので事業所としても助かりました。(生活介護事業所)

10. 質問6で、「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」と答えた方にお尋ねします。具体的にはどんなところに役立ちませんでしたか。(複数回答可)

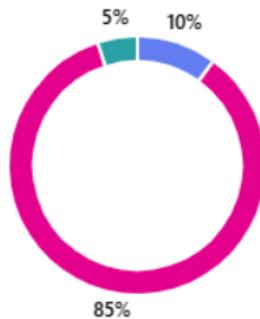


11. 質問10でチェックした項目について、具体的に教えてください。

- 生活介護事業所での支援方法についての整理・助言をもらいたかったが、様々な条件が重なって、中途半端な状態で終了してしまった。つないだこちらも説明不足だったが、どのように進められるのか、誰の参加が必要で誰の参加は不必要的かわかりづらかった。(障害者地域生活支援センター)
- ご家族は視覚的支援が有効と事業所に求められましたが、会議に参加されず、自宅での視覚的支援にはつながりませんでした。ペアトレーニング家族への支援も考えないと、家庭での継続的な取り組みは難しいと感じました。(生活介護事業所)
- 現在引きこもり状態にある本人の外出意欲を引き出す方法については検討が進まず、現在も状況が変わっていない。本人の様子観察等が行えていない中での限られた情報から、検査者の方には色々とアドバイスも頂き、できそうなことはご家族にも取り組んでいただいたが、効果は見られなかったとのこと。(相談支援事業所)

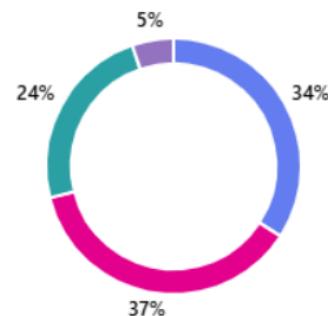
12. 質問4で選択した「かがやき」の支援・関わりは、他の自閉症の方の支援に役立ちましたか。

とても役に立った	2
役に立った	17
あまり役に立たなかった	1
役に立たなかった	0



**13. 質問12で「とても役に立った」「役に立った」と答えた方にお尋ねします。
具体的にはどんなところに役立ちましたか。(複数回答可)**

● 自閉症特性の理解	13
● 自閉症の方への関わり方	14
● 支援者間での共通認識づくり	9
● 自閉症の方の受け入れに対するハードルが下がった	2
● その他	0

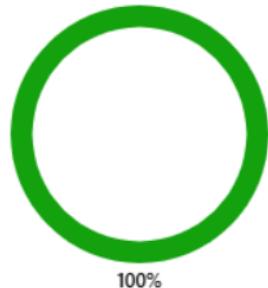


14. 質問13でチェックした項目について、具体的に教えてください。

- ・ 個別のケースを参考に、汎化して考えることが出来るので、深く関わるケースがあるとその内容全てが参考になる。(障害者地域生活支援センター)
- ・ イヤマフなどの道具の提案、口頭以外に文字に書いて選択肢を提示することなど。本人の取った行動の真意を知ることなど。(就労移行支援事業所)
- ・ 感覚などのお話から他の人にも思いあることがあり、関わり方や支援の方法を見直すきっかけとなった。(生活介護事業所)
- ・ 他の自閉症の方にも、共通するような特性や行動があり、関わり方や周りの環境の調整に役立ちました。(就労継続支援事業所B型)
- ・ 基本的な自閉症の特性、ある程度の共通した支援方法など学べた。(相談支援事業所)
- ・ 対象のご本人が各事業所での様子が違うことが知れた。(移動支援・行動援護)
- ・ 別の自閉症の方へ関わる際も、本人が得意としている部分に目を向けるよう意識するようになった。(移動支援・行動援護)
- ・ 家族構成や環境の変化で、できていたことができなくなったりするということを、支援者の間で共有できました。(生活介護事業所)
- ・ 事業所内で伝達することで、他の利用者に関わるスタッフにも影響を及ぼすことができた。(その他)
- ・ 問題行動となる環境の整備や関わり方を、スタッフで共有した。(就労継続支援事業所B型)
- ・ 自閉症支援を止めてしまう支援者に対しての再説明が必要。(相談支援事業所)
- ・ 視覚提示の修正や見直し、なぜ必要なのかの根拠を知り、職員間で共有認識することが出来た。(居住支援)
- ・ 簡単に課題に取り組んでいるようでも、本人にしてみたらかなりの労力を使って取り組んでいるということ。(生活介護事業所)
- ・ 対象となる利用者さんの強み弱みを色々な関わりの場面より見極め、支援の役に立てています。(障害者支援施設)

15. 質問12で「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」と答えた方にお尋ねします。具体的にはどんなところに役立ちませんでしたか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|---|
| ● 自閉症特性の理解 | 0 |
| ● 自閉症の方への関わり方 | 0 |
| ● 支援者間での共通認識づくり | 0 |
| ● 自閉症の方の受け入れに対するハードルが下がった | 0 |
| ● その他 | 1 |

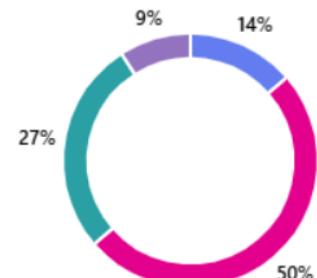


16. 質問15でチェックした項目について、具体的に教えてください。

- ・ 様々な条件が重なって中途半端に終わってしまったため、他に活かしにくい。(障害者地域生活支援センター)

17. 「かがやき」の支援・関わりにより、強度行動障害のある方への現在または今後の支援にどんな影響があったか、以下から当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

- | | |
|---|----|
| ● 強度行動障害のある方の受け入れに（より一層）前向きになれた | 3 |
| ● 現在支援している強度行動障害のある方について、安定した支援ができるようになった等、良い効果があった | 11 |
| ● 相談したケース以外の強度行動障害のある方への支援にも役立った | 6 |
| ● 強度行動障害のある方の受け入れには役立たなかった | 2 |



18. その他、ご意見やご感想など、ご自由にお書きください。

- ・ いつもありがとうございます。今後とも他の方の支援でアドバイスいただきたい場面も出てくると思います。その際は、どうぞよろしくお願ひいたします。(就労移行支援事業所)
- ・ かがやきさんにうまく入ってもらえるケースと入ってもらいにくいケースの違いは何だろう、どうかかわってもらえばよかったかともやもや感が残っている。(障害者地域生活支援センター)
- ・ 先日の支援で、久しぶりに場面にそぐわないこだわり行動がありました。かがやきさんが作ってくださったように、視覚的に訴えかける絵カードなど色々作って試してみようと思います。(移動支援・行動援護)
- ・ 障がいのある方を支援している家族も困りを抱え、サポートを必要としているケースが多いです。幼児期にはなんとかなったけれど、成人したからこそ困ることも増えてきます。家族が仕事で忙しかったり、家族が障がいを受容できなかったりすることもあると思いますので、ペアレントトレーニングを定着させて欲しいです。(生活介護事業所)

- ・ ありがとうございました。(就労継続支援事業所B型)
- ・ 日々色々な動きがあります。直近の話題は、「エビデンスのある報告書」です。主治医の発信で、生活介護事業所が取り組んでいます。(相談支援事業所)
- ・ 障害特性は個々違うので、支援の仕方に悩むことは多々あります。また、ご本人が自身の状況を理解することが重要なことがわかつてきただので、これからもご本人が希望された場合はかがやきの相談事業を利用したいと思っています。(相談支援事業所)
- ・ 自閉症の支援を充実させていくことで、他の利用者の支援も良い方向で見直すことが出来た。(生活介護事業所)
- ・ 施設外の専門性のある方に支援のポイントをアドバイス頂いた事により、生活内で見ている考えとは違う視点で捉えられる事で、新たな支援、関わりなどの提供が出来る事が有り難かったです。(障害者支援施設)

以上